

令和 2 年 度 学 科 学 生 募 集 要 項 入 学 案 内

推 薦	出 願 期 間	令和 2 年 1 月 7 日 (火) ～ 1 月 9 日 (木)
	面 接 日	令和 2 年 1 月 1 8 日 (土)
	合格者発表	令和 2 年 1 月 2 9 日 (水) 1 0 時
	入 学 手 続	令和 2 年 1 月 3 0 日 (木) ～ 2 月 7 日 (金)
学 力	出 願 期 間	令和 2 年 1 月 3 0 日 (木) ～ 2 月 5 日 (水)
	検 査 日	令和 2 年 2 月 1 6 日 (日)
	合格者発表	令和 2 年 2 月 2 8 日 (金) 1 0 時
	入 学 手 続	令和 2 年 3 月 2 日 (月) ～ 3 月 1 7 日 (火) 正午
帰 国 子 女	出 願 期 間	令和 2 年 1 月 3 0 日 (木) ～ 2 月 5 日 (水)
	検 査 日	令和 2 年 2 月 1 6 日 (日)
	合格者発表	令和 2 年 2 月 2 8 日 (金) 1 0 時
	入 学 手 続	令和 2 年 3 月 2 日 (月) ～ 3 月 1 7 日 (火) 正午



NIT, Suzuka College

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鈴鹿工業高等専門学校

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

TEL 059-368-1739

FAX 059-368-1738

<http://www.suzuka-ct.ac.jp>

目 次

令和2年度学科学生募集要項

I. アドミッション・ポリシー（学科入学者受入方針）	1
1. 求める入学志願者像	
2. 入学者選抜方針及び選抜の方法	
II. 募集人員	1
III. 推薦による入学者の選抜	2
1. 中学校等からの推薦者数	
2. 出願資格	
3. 入学願書受付	
4. 出願手続	
5. 選抜の実施方法	
6. 合格者発表	
7. 入学手続	
8. 推薦による選抜で不合格となった者の学力検査受検等について	
IV. 学力検査による入学者の選抜	5
1. 出願資格	
2. 入学願書受付	
3. 出願手続	
4. 選抜の実施方法等	
5. 合格者発表	
6. 入学手続	
V. 帰国子女特別選抜	8
1. 出願資格	
2. 入学願書受付	
3. 出願手続	
4. 選抜の実施方法等	
5. 合格者発表	
6. 入学手続	
VI. 出願上の留意事項	11
VII. 入試成績の開示について	11
VIII. 個人情報の取扱い	12
IX. 入試情報の提供	13
1. 受付状況について	
2. 過去問題について	
X. 入学予定者オリエンテーション	13
XI. 検査場の位置図及び交通案内	13

入 学 案 内

I. 鈴鹿工業高等専門学校について-----	15
1. 鈴鹿工業高等専門学校の歴史	
2. 教育理念	
II. 教育課程 -----	16
III. 修業年限及び学科卒業生の称号 -----	16
IV. 学科紹介 -----	16
V. 入学料・授業料免除制度及び奨学金制度 -----	17
1. 入学料・授業料免除制度	
2. 奨学金制度	
VI. 卒業までに必要な経費（予定額） -----	18

（出願書類）

教育課程，学科紹介等の詳細は，本校ホームページでも公開しています。

令和2年度学科学生募集要項

I. アドミッション・ポリシー（学科入学者受入方針）

1. 求める入学志願者像

- (1) 中学における学習内容をしっかりと理解している人
- (2) 数学や理科に興味を持ち、科学の発展に夢を持っている人
- (3) 何事にも積極的に挑戦する意欲があり、自ら進んで学習できる人
- (4) 他人を思いやり、協調していける人

2. 入学者選抜方針及び選抜の方法

本校では、「世界に羽ばたく創造的エンジニア」の育成を目的とし、その高い可能性を持った学生の選抜を基本とします。

入学者の選抜は、多様な人材を選抜するため、「推薦による選抜」と「学力による選抜」及び「帰国子女特別選抜」を行います。

推薦選抜においては、中学校における成績を評価するとともに、自然科学や科学技術に対する興味、工学を学ぶ意欲、生徒会活動・課外活動・ボランティア活動などの経験を通して育まれた協調性、コミュニケーション能力やリーダーシップ能力などを、面接結果を含め総合的に評価し、知徳体にバランスのとれた学生を選抜します。

学力選抜においては、実践的・創造的技術者教育に必要な一般科目と専門科目を十分理解できる学生を選抜するため、その基礎となる学力の試験及び調査書の合計点を評価して選抜します。帰国子女特別選抜においては、作文と面接も評価して選抜します。

II. 募集人員

学科別の募集人員は、下表のとおりです。

学 科	募集人員	備 考
機 械 工 学 科	40 名	各学科の募集人員は、推薦による選抜の募集人員(各学科とも18名程度)と帰国子女特別選抜の募集人員(各学科とも若干名)を含みます。
電 気 電 子 工 学 科	40 名	
電 子 情 報 工 学 科	40 名	
生 物 応 用 化 学 科	40 名	
材 料 工 学 科	40 名	
計	200 名	

Ⅲ. 推薦による入学者の選抜

1. 中学校等からの推薦者数

制限は設けません。

2. 出願資格

下記の各要件に該当し、在籍学校長が責任をもって推薦できる者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ①中学校を令和2年3月に卒業見込みの者
- ②義務教育学校を令和2年3月に卒業見込みの者
- ③中等教育学校前期課程を令和2年3月に修了見込みの者
- ④文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年3月に修了見込みの者

(2) 本校入学の意思が強固である者

(3) 志望学科に対して適性を有し、志望の動機が適切である者

(4) 品行方正で他の模範となる者

(5) 中学校3年間、(若しくは、義務教育学校後期課程3年間、中等教育学校前期課程3年間、文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程3年間)における9教科の5段階評価の合計(内申点)が、110(5段階評価の平均約4.1)以上である者

3. 入学願書受付

期 間	令和2年1月7日(火)から令和2年1月9日(木)まで (注) 郵送の場合も令和2年1月9日(木) 16時30分までに 必着のこと。
受付時間	9時から16時30分まで。
場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

4. 出願手続

入学志願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**入学検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先(振込依頼票に記載)へ電信扱いで振り込んでください。(現金自動預払機(ATM)による振込は不可。) ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が異なります。詳細は巻末をご覧ください。

振込期間は令和元年12月2日(月)～令和2年1月9日(木)

振込後、払込証明書を入学願書の裏面に貼り付け、下記の書類を在籍学校長を経て提出してください。

郵送する場合は、添付の封筒を使用して必ず書留郵便で送ってください。

提出書類	摘 要
入学願書	本校所定の用紙（推薦選抜用）に、必要事項を記入したもの。 入学願書の裏面に検定料の払込証明書（ゆうちょ銀行から振り込んだ場合は、振込受付書）を貼付していないものは無効です。 写真票に貼る写真は、最近３か月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景（縦４ｃｍ×横３ｃｍ）のものとします。
写真票	
受検票	
調査書	本校所定の用紙（推薦選抜用）に、在籍学校長が必要事項を記載したもの。
推薦書	本校所定の用紙に、在籍学校長が必要事項を記載したもの。
返信用封筒 （願書を直接持参する場合は不要）	受検票を送付するためのものです。添付の封筒に本人の住所・氏名・郵便番号を明記して６９４円分の切手（速達、簡易書留郵便料を含む。）を貼ったもの。
あて名シール	合格通知等を受けるためのものです。住所・氏名・郵便番号を記入してください。

5. 選抜の実施方法

選抜は、在籍学校長から提出された調査書の「各教科の学習の記録（必修教科の評定）」の合計（内申点）、「特別活動等の記録（生徒会活動、部活動等）」を評価した点（特別活動点）及び面接の結果（面接点）を総合して行います。面接では、アドミッション・ポリシーに則り適性、意欲、人物を評価します。

内申点を１３５点満点、特別活動点と面接点を合わせて１３５点満点、合計２７０点満点として評価します。

面接の日時・検査場

期 日	令和２年１月１８日（土）
時 間	指定する時間（後日学校長あてに通知します。）
検 査 場	鈴鹿工業高等専門学校

6. 合格者発表

令和２年１月２９日（水）１０時

本校内に合格者の受検番号を掲示します。また、遅くとも同日中に在籍学校長及び本人あて選抜結果の通知書を発送します。

当日、１０時３０分以降に本校ホームページに合格者の受検番号を掲載します。

ホームページ [http:// www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm](http://www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm)

電話等による可否の問い合わせは、ご遠慮願います。

7. 入学手続

郵送される合格通知書に同封の振込依頼書により入学料84,600円を振込み、入学手続期間内に学生課入試係に必要な書類を提出し、入学許可証を受取ってください。

一旦振込まれた入学料は、返金できません。

入学手続期間は、次のとおりです。

令和2年1月30日（木）13時から

令和2年2月7日（金）16時30分まで *土・日曜日は除きます。

郵送する場合は、書類不備がないように十分注意し、250円分の切手を貼った角2サイズの返信用封筒を同封して書留郵便で送付してください。なお、入学手続きが上記期間中に終了するよう十分時間の余裕をもって手続きを行ってください。

期間内に手続きを完了していない場合は入学を認めません。

（入学手続きの詳細は、合格通知書送付の際にお知らせします。）

8. 推薦による選抜で不合格となった者の学力検査受検等について

推薦による入学者の選抜の結果不合格となった場合、あらかじめ入学願書の「学力検査受検希望の有無」欄の「有」に○印を付けた者は、出願書類の再提出及び検定料の再納付をすることなく、学力検査を受検することができます。（学力検査受検用の受検票は、推薦選抜の際に使用した受検票を使用しますので、学力検査当日は当該受検票を持参してください。）

学力検査受検を希望する場合は、「推薦選抜入学願書」提出時に、

- ① 学力検査による選抜の志望学科（推薦選抜の志望学科と異なってもかまいません。）
- ② 学力検査を受検する検査場
- ③ 学力検査による選抜で合格した場合の入学意思

を必ず記入してください。

項目③については、入学願書に、合格した場合の入学意思について次のA、Bから選択し、必ずいずれかに○印を付けてください。A、Bいずれに○印を付けても可否には関係ありません。なお、補欠の対象者はAだけとします。

A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。

B 合格しても入学するとは限らない。

推薦による入学者の選抜の結果不合格となった場合、「帰国子女特別選抜」で受検希望の者は、入学検定料については改めて納付する必要はありませんが、別途所定の出願書類を提出していただく必要があります。帰国子女特別選抜用の出願書類は添付していませんので、令和元年12月6日（金）までに必ず本校学生課入試係に照会してください。出願資格等を確認した上で出願書類を送付します。（事前に照会のない者は出願できませんのでご注意ください。）

「帰国子女特別選抜」については、本募集要項8ページ以降をご覧ください。

IV. 学力検査による入学者の選抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 中学校を卒業した者（令和2年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 義務教育学校を卒業した者（令和2年3月卒業見込みの者を含む。）
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和2年3月修了見込みの者を含む。）
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和2年3月修了見込みの者を含む。）
- (5) その他相当年令に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者）

2. 入学願書受付

期 間	令和2年1月30日（木）から令和2年2月5日（水）まで （注）郵送の場合も令和2年2月5日（水）16時30分までに 必着のこと。
受付時間	9時から16時30分まで。 ただし、土・日曜日は受付をしません。
場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

3. 出願手続

(1) 出 願 書 類

入学志願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**入学検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください。（現金自動預払機（ATM）による振込は不可。）ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が異なります。詳細は巻末をご覧ください。

振込期間は令和元年12月2日（月）～令和2年2月5日（水）

振込後、払込証明書を入学願書の裏面に貼り付け、下記の書類を在籍（出身）学校長を経て提出してください。

郵送する場合は、添付の封筒を使用して必ず書留郵便で送ってください。

提 出 書 類	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙（学力選抜用）に、必要事項を記入したもの。 入学願書の裏面に検定料の払込証明書（ゆうちょ銀行から振り込んだ場合は、振込受付書）を貼付していないものは無効です。 写真票に貼る写真は、最近3か月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）のものとしします。
写 真 票	
受 検 票	

調 査 書	本校所定の用紙（学力選抜用）に、在籍（出身）学校長が必要事項を記載したもの。
志 願 者 意 思 確 認 書	本校所定の用紙に、志願者（本人）および保護者名で必要事項を記載したもの。
返 信 用 封 筒 (願書を直接持参 する場合は不要)	受検票を送付するためのものです。添付の封筒に本人の住所・氏名・郵便番号を明記して、694円分の切手（速達、簡易書留郵便料を含む。）を貼ったもの。
あ て 名 シ ー ル	合格通知等を受けるためのものです。住所・氏名・郵便番号を記入してください。

(2) 入学意思の確認について

志願者意思確認書に、合格した場合の入学意思について、次のA、Bから選択し、必ずいずれかに○印を付けてください。A、Bいずれに○印を付けても可否には関係ありません。なお、補欠の対象者はAだけとします。

A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。

B 合格しても入学するとは限らない。

(3) 志望学科について

入学願書及びその他の提出書類に、志望学科を記入してください。出願後の志望学科の変更は認めません。

(4) 第2志望学科について

出願期間終了後、第2志望学科として選択できる学科がある場合には、選択できる学科を令和2年2月12日（水）までに本校ホームページに掲載します。

ホームページ <http://www.suzuka-ct.ac.jp/application.htm>

なお、第2志望学科として選択できる学科がある場合、希望する第2志望学科の確認は学力検査当日の筆記検査終了後に行います。

4. 選抜の実施方法等

(1) 選抜の実施方法

選抜は、学力検査（理科、英語、数学、国語、社会）及び調査書の合計点を評価して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学は各教科150点満点、国語、社会は各教科100点満点で5教科計650点満点、調査書は100点満点、合計750点満点として評価します。合格ライン上で合計点が同点の場合は、学力検査の得点で合格者を決定します。

学力検査の解答方法は、マークシート方式です。必ず黒鉛筆（HB）を持参してください。（シャープペンシルは使用できません。HB以外の鉛筆は、解答を正確に読み取れない場合があります。）

(2) 検 査 日 時

期 日	教 科	時 間
令和2年2月16日(日)	理 科	9時30分 ～ 10時20分
	英 語	10時40分 ～ 11時30分
	数 学	11時50分 ～ 12時40分
	国 語	13時30分 ～ 14時20分
	社 会	14時40分 ～ 15時30分

(3) 検 査 場

検査場は、下記の2か所です。希望する検査場を選んでください。

- ① 鈴鹿工業高等専門学校 (三重県鈴鹿市白子町)
- ② 鳥羽商船高等専門学校 (三重県鳥羽市池上町1-1)

5. 合格者発表

令和2年2月28日(金) 10時

本校内に合格者の受検番号を掲示します。また、遅くとも同日中に合格者本人あてに合格通知書を、補欠対象者あてに補欠通知書を発送するとともに、学校長あてには合格者及び補欠対象者の受検番号一覧を発送します。

当日、10時30分以降に本校ホームページに合格者の受検番号を掲載します。

ホームページ [http:// www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm](http://www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm)

電話等による可否の問い合わせは、ご遠慮願います。

6. 入学手続

郵送される合格通知書に同封の振込依頼書により入学料84,600円を振込み、入学手続期間内に学生課入試係に必要書類を提出し、入学許可証を受取ってください。

一旦振込まれた入学料は、返金できません。

入学手続期間は、次のとおりです。

令和2年3月2日(月) 13時から

令和2年3月17日(火) 正午まで *土・日曜日は除きます。

郵送する場合は、書類不備がないように十分注意し、250円分の切手を貼った角2サイズの返信用封筒を同封して書留郵便で送付してください。なお、入学手続きが上記期間中に終了するよう十分時間の余裕をもって手続きを行ってください。

期間内に手続きを完了していない場合は入学を認めません。

(入学手続きの詳細は、合格通知書送付の際にお知らせします。)

V. 帰国子女特別選抜

1. 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等に伴って外国において教育を受けた者（海外の中学校に相当する課程に通算して2年以上在籍した者で、平成30年3月以降の帰国者）で次のいずれかに該当する者

- (1) 中学校を卒業した者（令和2年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 義務教育学校を卒業した者（令和2年3月卒業見込みの者を含む。）
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和2年3月修了見込みの者を含む。）
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和2年3月修了見込みの者を含む。）
- (5) その他相当年令に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者）

注）帰国子女特別選抜用の出願書類は添付していません。入学志願の者は、令和元年12月6日（金）までに必ず本校学生課入試係に照会してください。出願資格等を確認した上で出願書類を送付します。（事前に照会のない者は出願できませんのでご注意ください。）

2. 入学願書受付

期 間	令和2年1月30日（木）から令和2年2月5日（水）まで （注）郵送の場合も令和2年2月5日（水）16時30分までに 必着のこと。
受付時間	9時から16時30分まで。 ただし、土・日曜日は受付をしません。
場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

3. 出願手続

(1) 出 願 書 類

入学志願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**入学検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください。（現金自動預払機（ATM）による振込は不可。）ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が異なります。詳細は巻末をご覧ください。

振込期間は令和元年12月2日（月）～令和2年2月5日（水）

振込後、払込証明書を入学願書の裏面に貼り付け、下記の書類を在籍（出身）学校長を経て提出してください。

郵送する場合は、添付の封筒を使用して必ず書留郵便等で送ってください。

提 出 書 類	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙（帰国子女特別選抜用）に、必要事項を記入したもの。入学願書の裏面に検定料の払込証明書（ゆうちょ銀行から振り込んだ場合は、振込受付書）を貼付していないものは無効です。 写真票に貼る写真は、最近3か月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景（縦4 cm×横3 cm）のものとします。
写 真 票	
受 検 票	
調 査 書 (成績証明書)	本校所定の用紙（帰国子女特別選抜用）に、在籍（出身）学校長が必要事項を記載したもの。 海外の現地校等を卒業した者及び卒業見込みの者で本校所定の調査書の作成が困難な場合、当該学校等が発行した成績証明書及び卒業（修了）証明書又は同見込証明書を提出してください。なお、成績証明書を提出する場合の各教科の評定は、100点法に換算したものを記載してください。不可能な場合は、100点法との対応表を添付してください。 ※海外の現地校等が作成する書類が日本語以外の場合には、日本語訳を添付してください。
海 外 在 住 状 況 説 明 書	本校所定の用紙に記入してください。
志 願 者 意 思 確 認 書	本校所定の用紙に、志願者（本人）および保護者名で必要事項を記載したもの。
返 信 用 封 筒 (願書を直接持参 する場合は不要)	受検票を送付するためのものです。添付の封筒に、受検者の家族等の日本国内の住所・氏名・郵便番号を明記して、694円分の切手（速達、簡易書留郵便料を含む。）を貼ったもの。
あて名シール	合格通知等を受けるためのものです。受検者の家族等の日本国内の住所・氏名・郵便番号を記入してください。
そ の 他	外国籍を有する者は、市区町村長発行の外国人登録証明書（在留資格が明示されたもの）又は在留カードの写し（表・裏）等を提出してください。

(2) 入学意思の確認について

志願者意思確認書に、合格した場合の入学意思について、次のA、Bから選択し、必ずいずれかに○印を付けてください。A、Bいずれに○印を付けても可否には関係ありません。なお、補欠の対象者はAだけとします。

A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。

B 合格しても入学するとは限らない。

(3) 志望学科について

入学願書及びその他の提出書類に、志望学科を記入してください。出願後の志望学科の変更は認めません。

(4) 第2志望学科について

出願期間終了後、第2志望学科として選択できる学科がある場合には、選択できる学科を令和2年2月12日（水）までに本校ホームページに掲載します。

ホームページ <http://www.suzuka-ct.ac.jp/application.htm>

なお、第2志望学科として選択できる学科がある場合、希望する第2志望学科の確認は学力検査当日の筆記検査終了後に行います。

4. 選抜の実施方法等

(1) 選抜の実施方法

選抜は、学力検査（理科、英語、数学）、作文、面接及び調査書（成績証明書）の合計点を評価して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学の各教科150点満点で3教科計450点満点、作文（800字以内）は100点満点、面接及び調査書（成績証明書）は合わせて200点満点、合計750点満点として評価します。

学力検査の解答方法は、マークシート方式です。必ず黒鉛筆（HB）を持参してください。（シャープペンシルは使用できません。HB以外の鉛筆は、解答を正確に読み取れない場合があります。）

作文も黒鉛筆（HB）を使用してください。

(2) 検 査 日 時

期 日	教 科	時 間
令和2年2月16日（日）	理 科	9時30分 ～ 10時20分
	英 語	10時40分 ～ 11時30分
	数 学	11時50分 ～ 12時40分
	作 文	13時30分 ～ 14時20分
	面 接	14時40分 ～ 15時30分

(3) 検 査 場

鈴鹿工業高等専門学校（三重県鈴鹿市白子町）

5. 合格者発表

令和2年2月28日（金）10時

本校内に合格者の受検番号を掲示します。また、遅くとも同日中に合格者本人あてに合格通知書を、補欠対象者本人あてに補欠通知書を発送するとともに、学校長あてには合格者及び補欠対象者の受検番号一覧を発送します。

当日、10時30分以降に本校ホームページに合格者の受検番号を掲載します。

ホームページ <http://www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm>

電話等による可否の問い合わせは、ご遠慮願います。

6. 入学手続

郵送される合格通知書に同封の振込依頼書により入学料84,600円を振込み、入学手続期間内に学生課入試係に必要な書類を提出し、入学許可証を受取ってください。

一旦振込まれた入学料は、返金できません。

入学手続期間は、次のとおりです。

令和2年3月2日（月）13時から

令和2年3月17日（火）正午まで *土・日曜日は除きます。

郵送する場合は、書類不備がないように十分注意し、250円分の切手を貼った角2サイズの返信用封筒を同封して書留郵便で送付してください。なお、入学手続きが上記期間中に終了するよう十分時間の余裕をもって手続きを行ってください。

期間内に手続きを完了していない場合は入学を認めません。

（入学手続きの詳細は、合格通知書送付の際にお知らせします。）

VI. 出願上の留意事項

- ① 受検票は、入学願書を受理したのち本人あてに交付または郵送します。
この受検票は検査当日必ず持参してください。
- ② 受理した書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。（出願書類は、フリクションボールペンなど簡単に消せる筆記用具では記入しないでください。）
- ④ 本校に入学を志願する者で、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、出願に先立ち（推薦による選抜の場合は令和元年12月6日（金）まで、学力検査による選抜の場合は令和元年12月20日（金）まで）、本校学生課入試係に申し出てください。
- ⑤ 募集要項及び入学検査に関し不明なことがある場合は、本校学生課入試係にお問い合わせください。

VII. 入試成績の開示について

本校では、受検者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

推薦による選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

1. 申請者

学力検査による入学者選抜の受検者本人に限ります。（代理人による申請は認めません。）

2. 開示内容

- (1) 学力検査の科目別得点
- (2) 調査書の得点（評価点）
- (3) 総得点
- (4) 志望学科における順位

3. 申請期間

令和2年3月9日（月）から4月17日（金）までとします。

（土・日曜日及び祝日を除き、9時から12時まで、13時から17時まで）

4. 申請に必要な書類

- (1) 鈴鹿工業高等専門学校入試成績開示申請書

入試成績開示申請書は、本校ホームページから印刷することができます。

- (2) 本校受検票及び本人確認できるもの（学生証等）

- (3) 返信用封筒（開示通知書送付用。郵送による開示請求の場合のみ。）

長型3号の封筒に、本人の郵便番号・住所（入学願書に記載されている住所に限る。）・氏名を明記の上、404円分の切手を貼ってください。

5. 申請方法

開示を請求する受検者本人が来校し、本校の受検票（コピーは不可）及び本人確認できるもの（学生証等）を提示し、学生課の窓口で申請してください。

遠隔地に居住する等の理由で本人が来校することができない場合は、郵便でも受け付けますので入試成績開示申請書、本校の受検票（コピーは不可）及び本人確認できるもの（学生証等のコピー）を同封してください。（4月17日（金）消印有効。）

6. 開示の方法

本人が来校し窓口で申請した場合には、原則として申請した日に窓口で閲覧の形で開示します。ただし、申請者が多数の場合や、入学手続最終日、入学者オリエンテーション実施日、入学式等の学校行事のある日は、当日のうちに閲覧できないことがあります。

郵便により申請した場合には、提出された返信封筒を使用し郵送により開示します。（1週間程度日数がかかる場合があります。）

7. 問合せ先

鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

電話 （059）368-1739

VIII. 個人情報の取扱い

本校では、入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導

- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査

- (3) 奨学金申請の審査

- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

IX. 入試情報の提供

1. 受付状況について

本校では、推薦、学力による入学者選抜及び帰国子女特別選抜の願書受付期間中、適時入学願書の受付状況をホームページでお知らせします。

2. 過去問題について

学力検査過去問題をホームページで公開しています。

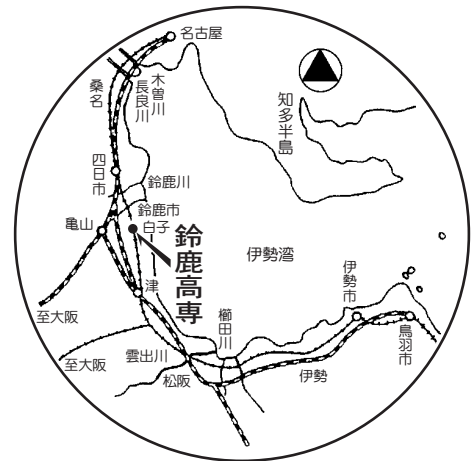
鈴鹿高専ホームページから入試情報→入試について→過去の検査問題→学科入学者
選抜学力検査問題・解答（平成29年度～平成31年度）をご覧ください。

X. 入学予定者オリエンテーション

令和2年3月24日（火）に、入学予定者と保護者を対象としたオリエンテーションを予定しています（日程は変更になる場合があります）。詳細は、別途案内いたしますので**必ず出席**してください。

XI. 検査場の位置図及び交通案内

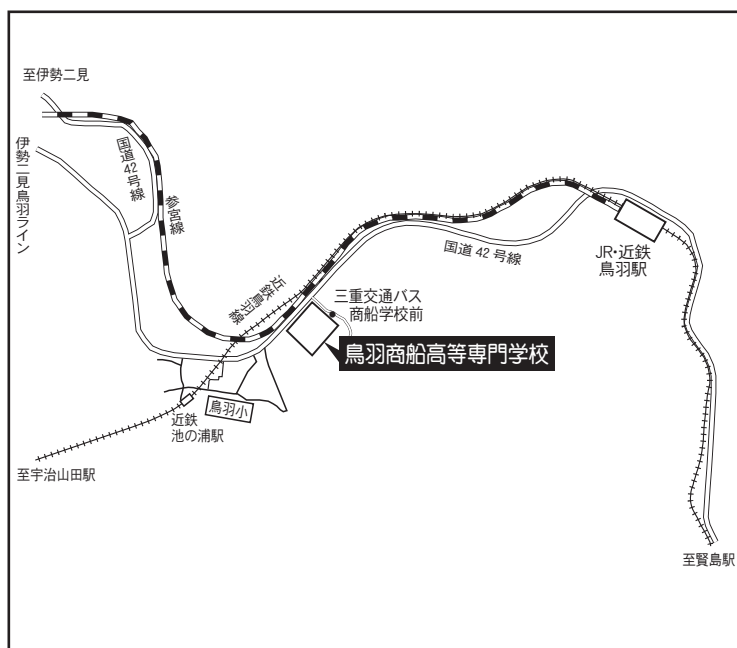
◎鈴鹿工業高等専門学校



検査場までの交通案内

- ・近鉄名古屋線白子駅下車、
三重交通バス白子駅西口から
平田町行又は鈴鹿サーキット
行に乗車約10分、東旭が丘
3丁目下車、徒歩約7分

◎鳥羽商船高等専門学校



住所 鳥羽市池上町 1-1

電話 0599-25-8404

検査場までの交通案内

- ・ J R 参宮線・近鉄鳥羽線
鳥羽駅下車, タクシー5分
- ・ 近鉄鳥羽線(普通)池の浦駅
下車, 徒歩約10分

入 学 案 内

I. 鈴鹿工業高等専門学校について

1. 鈴鹿工業高等専門学校の歴史

昭和37年(1962年)4月に、我が国の工業を支える優れたエンジニアを育成するため、中学校卒業後の5年間で大学の学部と同水準の専門教育をめざす国立の高等教育機関として設立されたのが高等専門学校です。

現在、国公立立合わせ57校設置されていますが、鈴鹿工業高等専門学校(以下「鈴鹿高専」という。)は制度創設と同時に、機械工学科、電気工学科(現電気電子工学科)、工業化学科(現生物応用化学科)の3学科体制で出発しました。その後金属工学科(現材料工学科)と電子情報工学科が増設され、これまでに約8,800人の卒業生が巣立ちました。そして、技術者や研究者あるいは企業経営者として社会で活躍し、教育界や産業界の方々から高い評価を受けています。

また平成5年度には、科学技術の進展と本格的な国際化時代の到来に対応するため、学科5年間の教育課程に加え、2年間の高度な専門教育を実施する「専攻科」を設置し、国際社会で活躍できる人材の育成に努めています。

平成16年度には、独立行政法人「国立高等専門学校機構」が設置する国立高専の1つとして組織改変がなされるとともに、大学改革支援・学位授与機構による教育研究活動などの総合的な評価を定期的に受けることになり、平成17年度、平成24年度に引き続き、平成30年度に高等専門学校評価基準を満たしていると認定され、数多くの取組みが高く評価されました。

2. 教育理念

今日、科学技術の高度化と国際化の到来により、技術者教育を担う高等教育機関には新たな展開が求められています。そのため、鈴鹿高専では建学の精神を範とした、次のような教育理念を定め、「世界に羽ばたく創造的なエンジニア」の育成を目指しています。

- ① 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- ② 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- ③ 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- ④ 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

II. 教育課程

第1, 2学年で受ける授業科目は、各学科に共通する一般科目（数学、物理、化学、国語、英語など）と学科別専門基礎科目（実験・実習も含む。）から構成されています。一般科目は社会人や技術者として必要となる基礎的知識と幅広い視野を養い、専門基礎科目は技術者としての第一歩を踏み出すための科目です。

第3学年から本格的な専門教育に入っていきます。各分野の理論や技術を学ぶとともに、知識を応用する力、結果を評価し判断する力などを養います。特に第4, 5学年においては、ものづくりや技術開発の場で新しい価値を生み出す能力を育てるために、より高度な工学実験、創造工学、卒業研究などの重要科目が配置してあります。

なお、本校では「英語によるコミュニケーション能力」を育てる教育にも力を入れており、ネイティブ・スピーカーによる小人数授業や TOEIC（国際的に通用する英語運用能力検定試験。TOEIC IP テストを含む。）等を活用し、学習支援を行っています。

III. 修業年限及び学科卒業生の称号

修業年限は5年で、学科卒業生は「準学士(工学)」と称することが認められます。

IV. 学科紹介

・機械工学科

機械工学に関する基礎理論と専門知識（材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産）に加えメカトロニクス・ロボット工学・CAD/CAMなどコンピュータ応用技術に関する幅広い知識も習得します。

・電気電子工学科

電力・鉄道などの社会インフラから、デジタル家電やスマートフォンなどの電化製品・電気電子機器の設計・生産をはじめ、機械・化学・食品・ICT産業などの分野で活躍できる電気電子技術者になることができます。本学科は第2種電気主任技術者の認定対象学科です。

・電子情報工学科

コンピュータはスマートフォン、デジタル家電、自動車、航空機などあらゆるものに組み込まれ、豊かな生活を実現するためにかかせません。電子情報工学科では、「電子」「情報」「通信」「制御」の知識と技術をバランスよく学ぶことができ、多くの卒業生が技術者、研究者としてコンピュータ社会の様々な分野で活躍しています。

・生物応用化学科

工業化学を学ぶ「応用化学コース」と生物工学を学ぶ「生物化学コース」があります。両コース共に医薬・化粧品などのファインケミカルズ、プラスチック、環境保全などに関連する知識や技術を習得するほか、最新の化学理論とバイオテクノロジーをそれぞれ学びます。

・材料工学科

金属材料、無機材料、有機材料などの専門知識と技術（材料の物理、化学、構造、機能、製造プロセス、分析・評価等）を習得し、設計製図や機械工作、コンピュータ応用技術なども身につけた実践的な材料技術者を目指します。

V. 入学料・授業料免除制度及び奨学金制度

1. 入学料・授業料免除制度

・入学料免除

学資を主として負担している方が入学前1年以内に死亡し、または風水害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除することがあります。

・授業料免除

平成22年度から公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金に関する法律が施行されましたので、第1学年から第3学年は「授業料免除制度」に代わり「高等学校等就学支援金」制度により行われます。

第4学年から第5学年は、大学等における修学の支援に関する法律等に基づき、令和2年度から、しっかりとした進路への意識や学習意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学、高等専門学校等に進学・進級できる機会を確保するための国の新しい修学支援制度が始まります。学力基準、家計基準等の一定の要件を満たした場合、授業料の全額もしくは一部を免除することがあります。詳細については、文部科学省のHP等でご確認ください。

2. 奨学金制度

平成16年4月に設立された独立行政法人 日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れた者で経済的理由により就学困難な者には、本人の申請に基づき選考のうえ、無利子で奨学金が貸与されます。（日本学生支援機構の予約採用については、在籍する中学校に問い合わせて下さい。）

また、第4学年以上の学生に対して、令和2年度から始まる国の新しい修学支援制度により、日本学生支援機構の規定に基づき、学力基準、家計基準等の一定の要件を満たした場合、給付型の奨学金が支給されることがあります。詳細については、日本学生支援機構のHP等でご確認ください。

その他、地方公共団体や民間育英団体による奨学金もあります。

VI. 卒業までに必要な経費（予定額）

（通学生・寮生共通）

在学中の学校納入金及び諸経費等

（円）

学年等		授業料	諸経費等					計
			旅行等 積立金	学生会費	日本スポーツ 振興センター 会費	教育後援会	傷害 共済 会費	
第1学年	前期	117,300	43,000	10,200	1,550	29,200	500	201,750
	後期	117,300	43,000	-	-	19,200	-	179,500
第2学年	前期	117,300	51,000	7,200	1,550	19,200	500	196,750
	後期	117,300	52,000	-	-	19,200	-	188,500
第3学年	前期	117,300	5,500	7,200	1,550	19,200	500	151,250
	後期	117,300	-	-	-	19,200	-	136,500
第4学年	前期	117,300	28,000	7,200	1,550	19,200	500	173,750
	後期	117,300	17,000	-	-	19,200	-	153,500
第5学年	前期	117,300	20,000	7,200	1,550	19,200	500	165,750
	後期	117,300	-	-	-	19,200	-	136,500

- ① 授業料は、在籍36ヶ月の期間について申請により就学支援金の支給が認められた場合、世帯の課税額に応じて減額されます。
在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- ② 入学手続き時に入学金84,600円が別途必要になります。
- ③ 入学前オリエンテーション時に制服・教科書・教材費等約150,000円(学科によって異なります。)が別途必要になります。

（寮生のみ）

入寮生経費

（円）

学年等		寄宿料	学寮生活費	エアコン経費 (見込額)	計 (見込額)
第1学年～第3学年	前期	4,200	32,950	12,000	49,150
	後期	4,200	32,950	12,000	49,150
第4学年～第5学年	前期	4,800	32,950	12,000	49,750
	後期	4,800	32,950	12,000	49,750

- ① 寄宿料は、複数人部屋（低学年）月額700円、1人部屋（高学年）月額800円です。
- ② 入寮時のみ入寮費4,000円が別途必要になります。
- ③ 別途食費 月平均約20,000円が必要です。
水道料金の変更により、学寮生活費が改定予定です。
学寮生活費は諸物価高騰等の理由により改定される場合があります。
- ④ エアコン経費は寮生の人数により変動します。

求める入学志願者像

- (1) 中学における学習内容をしっかりと理解している人
- (2) 数学や理科に興味を持ち、科学の発展に夢を持っている人
- (3) 何事にも積極的に挑戦する意欲があり、自ら進んで学習できる人
- (4) 他人を思いやり、協調していける人

入学検査に関する問い合わせ、出願書類の請求先

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鈴鹿工業高等専門学校

入試広報室

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

TEL 059-368-1739 (学生課入試係)

FAX 059-368-1738

<http://www.suzuka-ct.ac.jp>